2月予算議会報告

くらし最優先、不要不急の事業を見直す予算組み換えを提案しました 日本共産党

２０２３年度予算を審議した２月区議会が終わりました。
日本共産党区議団は、行政のチェック、積極的な提案を行い切実な願いの実現にむけ全力を尽くしました。

なぜ予算に反対し、組み換えを求めたか

一般会計予算は１１３３億７千万円、前年度比６２億１千万円・５．８％増で過去最大規模です。

学校給食無償化、１８歳まで医療費無料の拡大など区民の切実な声と運動で実現した重要な前進があります。

しかし物価・エネルギー高騰対策、高齢者福祉、事業継続支援など緊急事態に対応した、くらし最優先の予算編成が求められていました。

そもそも予算は、国政、地方政治を問わず「政治の顔」「鏡」であり、政治の基本姿勢を示すものです。

日本共産党区議団は、以下のような問題点があるため、予算案に反対し、区民の願いを「予算組み替え」案（右一覧）にまとめ対案を示し区に実施を求めました。

21項目1億2千万円規模・予算の1・2%の組み替え

2023年度予算組み換え案（日本共産党区議団提出）

①保健所職員・保健師などの増員と定員化	7,000万円	⑫子どもの貧困対策実態調査費	3,000万円
②検査体制の抜本的拡充	5,000万円	⑬「子どもの貧困対策に関する計画」策定経費	1,000万円
③「保健センター」設置に向けた準備・調査費	500万円	⑭スクールソーシャルワーカー・カウンセラーの増員	5,320万円
④生理用品を区内公共施設トイレに常備	300万円	⑮高齢者住宅整備計画策定経費	500万円
⑤屋内安全対策100%推進費	2,000万円	⑯ひとり親世帯の家賃助成	7,200万円
⑥「町屋さくら」運行経費の補填	3,000万円	⑰生活保護 法外援助 夏期手当	4,500万円
⑦簡易耐震工事補助事業	2,000万円	⑱エアコン購入助成	500万円
⑧住宅リフォーム助成	4,000万円	⑲高齢者補聴器購入助成費	722万5千円
⑨区内公共交通総合政策策定経費	500万円	⑳就学援助認定基準引上（1.2から1.5倍）	4,275万5千円
⑩「（仮称）区内中小企業振興基本計画」策定経費	500万円	㉑会計年度任用職員処遇改善臨時手当	3,800万円
⑪0～2歳児の保育料完全無償化	6億6,801万7千円	21事業合計	12億2,419万7千円

20億円以上の新規事業でも大丈夫 区民の願い実現の財源は十分あります

これまで区は将来の「小中学校建替え」の財政負担などあげ、給食無償化などは「難しい」としてきました。しかし①学校給食無償含め新規重点施策８億円②本庁舎建替えの基金積み立て１２億５千万円、この２０億円を予算のやりくりで捻出。区は、福祉や教育など毎年必要な事業は、１～２千万円でも「財政的に難しい」と言って拒否しましたが、もはや通用しません。基金残高は４３３億円台を維持し、区民の願い実現の財源は十分あります。

2023年度予算のここが問題…！

くらし応援が不十分 高齢者生活支援は？

区の重点施策も中で、高齢者福祉の充実は、３事業７００万円。あまりにも少なすぎます。コロナ禍で社会的孤立、虚弱状態の増加が問題になっていますが、地域包括支援センター、区のケースワーカー増員もありません。また、中小事業者への事業継続支援も見えません。住宅リフォーム助成なども必要でした。

本庁舎建て替えの基金 12億５千円を８年間…？

本庁舎建て替え基金「１２億５千万円」を計上、８年間で１００億円貯める計画です。物価高騰に区民が苦しんでいるときに、すぐ必要か？建替え計画もこれからです。区は、１２億円余を貯めても財政的に問題がない事、額も貯める期間も今後の計画次第とのことです。区民の暮らし応援に振り向けるべきです。

区民不在の大規模再開発 区民の住宅支援、移動手段を

西日暮里と三河島の大規模再開発は、１７６０戸の高額タワーマンション建設に４００億円の税金投入。一方、都営住宅は数十倍、高齢者住宅登録も１０倍の難関。一方、住宅困窮者への支援は、ほとんどありません。区は家賃助成にも後ろ向きです。町屋さくらも廃止後１年、代替え手段も「口先」だけです。区民が住み続けることができるまちづくりへの転換が必要です。

区立幼稚園廃園や 保育園民営化は問題です

区は、区立幼稚園など５園の廃園や公設公営保育園の民営化計画も従来通り推進。全国で保育園での虐待や保育の質が問題になっています。保育の質を確保するため、児童福祉や保育に精通、経験もある区の専門職員の役割が重要ですが、廃園民営化では子どもは守れません。専門職員はコストでなく区民の大事な財産です。

主な議案への各会派の態度

		区長提案					共産党提案		
		2023年度一般会計予算	地球温暖化対策推進条例	個人情報の保護に関する法律施行条例	豊かな心を育む読書のまちづくり条例	国民健康保険条例の一部改正	就学援助の対象拡大	補聴器助成費の上限引き上げ	住宅リフォーム助成の新設
	自民党(10※)	○	○	○	○	○	×	×	×
	公明党(6)	○	○	○	○	○	×	×	×
	共産党(6)	×	○	×	×	×	○	○	○
同会派	あたらしい党(1)	○	○	○	○	○	×	○	×
同会派	旧N国党(1)	○	○	○	○	○	×	○	×
	民主ゆい(1)	○	○	○	○	○	×	×	×
	無所属(1)	○	○	○	退席	○	×	×	×
	維新の会(1)	○	○	○	○	○	×	×	×
	自由民主の会(1)	○	○	○	○	○	×	×	×
	元気クラブ(1)	×	○	×	○	×	×	○	×
	創新党(1)	○	×	○	○	○	×	×	×
	立憲民主党(1)	○	○	○	○	○	○	×	○
	結果	可	可	可	可	可	否	否	否

※自民党は11名で議長は採決に不参加

くらし応援3条例を提案 日本共産党区議団

就学援助条例

就学援助の基準を生活保護の１．２倍から１．５倍に引き上げ

補聴器購入助成条例

区制度の補助額２万５千円を５万円に引き上げ

住宅リフォーム助成条例

区内事業者による１０万円以上の住宅リフォーム工事に工事費の５分の１、上限４０万円を助成

温暖化対策推進条例

区、区民、事業者に温室効果ガスの削減、ごみ減量、再エネ導入など、温暖化対策の基本的な事項を定めています。

個人情報保護法施行条例

区独自の個人情報保護条例を廃止、法律と一元化。国が自治体のデータ利活用のため、独自制限を禁止。国と一元化で個人情報保護制度緩和、地方自治の後退につながるため、反対しました。

読書のまちづくり条例

読書と環境整備は大切ですが区民、区内事業者に「努力義務」を課す条文は、個人の内面に踏み込むもので不適切で反対。

図書館などの環境整備、司書の処遇改善こそ区の責務です。

日本共産党荒川区議団ニュース　2023年 No 165（春季号）
TEL 3802-4627 FAX 3806-9246　mail：arajcp@tcn-catv.ne.jp

区民の声を届けました　予算特別委員会…論戦ハイライト

シルバー配分金とインボイス税金分はセンター負担で

小林行男区議

シルバー人材センター会員は、請負などの契約。「事業者」扱いで、センターからの配分金が月３万～４万円と少額のため会員は免税業者。インボイス制度が導入されると、課税業者のシルバー人材センターが消費税を負担するか、会員が課税業者になるかを迫られます。会員は、事務、経済的負担からもインボイス発行の課税業者は無理です。区発注だけでなく、民間会社からの仕事も税金を会員に負担させないよう求めてきました。今回、シルバー人材センターが負担する方向で、区と検討に入っています。

ジェンダー平等の推進へアクト２１の機能強化を

北村あや子区議

アクト２１は「男女平等推進センター」が正式名称。女性の地位向上、男女平等・ジェンダー平等の実現を行政と区民が協働して推進することが設置の目的です。しかし実際は、十分機能しているとはいえないのが実情です。例えば、ＤＶ関係の相談では、昨年度全体で９４７件中、アクト２１で２９件、わずか３％です。相談や啓発事業の推進などのため、体制の見直しや取り組みの強化を求めました。区も検討を約束しました。

子どもの貧困対策で実態調査と全庁推進体制を

横山幸次区議

子どもの貧困改善のため区の推進体制、実態を可視化し施策に反映させるため１８歳までの「子どもの生活実態調査」を求めました。区は、庁内に「庁内連絡会議」を設置。しかし、任意の合議体で不十分です。質疑の中で今後機能を強化していくと答弁。子どもの生活実態調査は、子ども子育て支援計画の「ニーズ調査」で、対象を小学校から18歳まで拡大して実態調査を行うと回答しました。

大規模再開発計画推進の結果子どもたちの教育環境も犠牲に…

小島和男区議

西日暮里駅前など再開発による人口増にも関わらず、当初区は、学校などへの影響を全く無視。日本共産党区議団の追及で検討をはじめましたが、結局学区域の変更と峡田小学校の校庭拡張用地を新校舎建設に転用するという計画です。コカ・コーラ跡地に民間事業者のマンション建設計画が浮上。子どもたちの学びの環境への懸念が広がっています。子どもを犠牲にする再開発計画の見直しを求めました。

私立保育園の委託費流用を追及保育の質の確保のためにも是正を

斉藤くに子区議

全額税金と保育料で賄われ、その園の保育のために使う運営費（委託費）を子どものためでなく、本部の経費に流用し、他自治体での事業拡大の原資にしている事例が、荒川区でも３年間だけで５億５千万円となっています。流用している法人が運営する保育園と人件費比率の低い保育園が一致しているようです。流用の結果が、保育士の待遇や保育の質に影響しています。指導監査の強化を求めました。

教育費の負担を軽く学生服のリユース事業を

相馬ゆうこ区議

西尾久のクリーニング店では、学生服を引き取り、クリーニング代のみで提供する「おさがり制服プロジェクト」を実施。購入すると冬服約４万円と夏服など含め５万円を超える負担。店の方は、来店のきっかけになり売上増につながっているようです。

「クリーニング店の営業支援と連携したリユース事業を」求め質問。区は、「おさがり制服プロジェクトは画期的な取り組み」「効果的な対応を検討したい」と答弁しました。

くらしと福祉をよくする・区民が主役の荒川区へ

日本共産党区議団はみなさんの願い実現へ全力

暮らしと営業を守り活気あるまちをめざす

- 高すぎる国保料・介護保険料の値上げを止めます
- 区独自の在宅高齢者の生活支援を充実します
- 補聴器購入助成の限度額引き上げます
- 高齢者などのエアコン助成を復活します
- 中小企業振興基本計画をつくります

子育ての負担ゼロめざす

- 学校給食に続き、教材教具の無償化を求めます
- 就学援助対象を拡大、充実します
- 保育園0～2歳児の保育料を完全無償化します
- 区独自で保育士を増配置します

防災福祉、持続可能なやさしいまちをめざす

- 駅前大規模再開発を見直します
- 高齢者、ひとり親など家賃助成制度を実現します
- コミバス「さくら」を軸に公共交通政策をつくります
- 命を守るため簡易耐震工事の助成制度を実現します

ジェンダー平等・多様性を力に

- ファミリーシップ制度を実施します
- 区管理職、審議会委員など女性登用を増やします
- 男女平等推進センター機能を抜本的に強化します

お困りごと、暮らしの相談などお気軽に

日本共産党荒川区議会議員団
荒川区役所控室 TEL3802-4627

相馬ゆうこ
電話：３８０７－４１９２
南千住５－１－６ ２Ｆ
法律相談 第２木曜１８時～

斉藤くに子
電話：３８０６－５１３４
荒川７－３７－１
法律相談 第４月曜１８時～

横山幸次
電話：３８９５－０５０４
町屋５－３－５
法律相談 第１月曜１８時～

小林行男
電話：３８９５－０５０８
東尾久２－３７－３
法律相談 第３火曜１８時～

北村あや子
電話：３８９４－６６６８
西尾久２－４－８ １Ｆ
法律相談 第３金曜18時半～

小島和男
電話：３８９１－８８８４
東日暮里３－１８－４
法律相談 第２水曜１８時～